



中丹高次脳機能障害者と家族の会

## “さくらの会”便り

No102号 2016.12.5

発行責任者  
会長 粟野勝彦  
編集責任者  
世話役代表 上原 栄  
TEL.0773-22-7859

—リラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところ—

# デイケアの効果など

## 「会」からも報告

第17回  
講習会

第17回脳外傷・  
高次脳機能障害リ  
ハビリテーション  
講習会が10月3

0日にハピネス福知山にて開催ました。

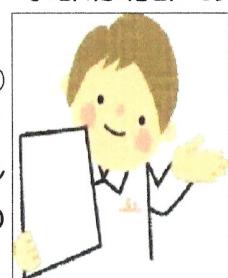
講習会では、「高次脳機能障害とともに生きる」と題して医療法人エスポート出雲クリニック 高橋幸男先生の講演があり、127名の参加がありました。

先生は、精神科医で認知症の人たち、「統合失調症」圏の人たち、「高次脳機能障害」の人たちの医療に携わってこられています。高次脳機能障害者への関わり方や、デイケアの効果などについて詳しい話がありました。

2部では、医療・福祉・家族会によるリ

レートークがありました。発言者は渡辺病院の永吉恭子様、福知山市の相談支援センター「てくてく」岩佐将治様、「さくら」の会からは上原栄が発表しました。

「会」としての発表内容は、「高次脳機能障害グループ訓練報告」と題して4月からのグループ訓練の内容を報告。①自分の障害について気づいた ②自分だけではないと感じた ③家の中では気づかない。このようなグループ訓練が、京都府北部で実施されることが当事者・家族の願いであること④グループ訓練を支えてくださった本多先生をはじめ、みなさまへのお礼の言葉を述べました。



参加者の声

行き場（心地よい場所）を作れる支援体制がとても少なく、  
（高次脳機能障害）の育成  
是非福知山でも実現してほしいと思います。

- |   |                                                                                                                        |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 具体的でわかりやすかった                                                                                                           |
| 2 | 関わる側の対応や環境が大切であること等大変勉強になりました                                                                                          |
| 3 | 出雲のシステムができるまでを詳しく知りたいと思いました                                                                                            |
| 4 | 地域の中での高次脳、認知症の支援についてより知識を深めることができました。一年目の〇丁のため、地域のに戻った後の生活についてのイメージがより明確にできるようになつたともいます。地域支援をより豊かにするように働き換えていけたらと思います。 |
| 5 | 地域・医療・行政のネットワークが大切であり、退院後、その人らしく生きていくためには今必要な取り組みだと、医療の現場ではしみじみ感じる。                                                    |
| 6 | 高齢者への支援は介護保険で充てられていますが、五〇～六〇代と若い方が脳に障害を負い、その後の生活を支えます。                                                                 |

した。  
一面「講演会」アンケートより  
回復期・生活期と連携をとり、患者・  
家族の支援をして行きた  
いと思いま  
した。

## ルート／＼の感想

- 1 市として連携機関と、どのように取り組んでいきたいのか？障害へ体制を考えてほしい
- 2 職業的に私とリンクすることが多く、もっと施設の事をしりたいと思いました。
- 3 福知山でも、急性期、患者・

## 役員会報告について

第1回役員会を、10月14日交流プラザでひらきました。

損保講習会の打ち合わせと、サロンさくら（新春交流会）と平成29年度総会の日にちを決めました。詳細は次号にてお知らせします。



## 平成29年度総会について

平成29年度総会を来年4月23日の日曜日に綾部保健福祉センター2階の会議室で開くよう計画しています。少し先の予定ですが、よろしくお願ひします。

### 【編集後記】

▼今年の大きな行事である、グループ訓練もあと2日となりました。参加された皆さんの笑顔が増えたこと一番うれしく思います。「よかったです」「出来たことを探すこと」そんな小さなことが、1人ひとりの成長に繋がって行く事を信じています。よいお年をお迎えください。

## サロンさくら新春交流会

「サロンさくら」の新春交流会を、来年の2月5日の日曜日、10時から午後3時までに計画しています。

場所は  
綾部市保健福祉センター

楽しい内容となるよう考えております。ぜひみなさんには参加をお待ちしています。

詳細は後日、連絡しますが、みなさん予定しておいてくださいね！

## 助成金の申請をしました

平成29年度JR西日本あんしん社会財団活動助成へ、下記の内容で11月に申請しました。

申請の目的は  
グループ訓練後半年の経過後における訓練の成果を確認し、フォローアップを図りたいと考えています。また、医療関係スタッフに対しても勉強会等を行い、北部地域における高次脳機能障害者への支援体制の土台作りを行うことを目的にしています。時期は、平成29年6月と11月の2回予定

認められ、助成金が交付されれば、「会」の活動がさらに進んでいくと期待されます。

